

目 次

I.	総会	
1)	平成26年度定時総会	2
2)	平成26年度事業計画	2
II.	理事会、会員定例会、部会、事業	
1)	理事会審議議題	7
2)	会員定例会審議議題	10
3)	宣伝部会、営業部会、製作＝渉外部会、 総務・経理合同部会の開催及び国際部会の発足	12
4)	外国映画通関連絡協議会の開催	12
5)	外画宣伝部長会の開催	12
III.	主な事業活動の報告	
1)	外国映画に関する調査、研究、統計資料の作成、収集並びにその公表等 の広報活動に関する事業	13
2)	外国映画文化、芸術の振興及び外国映画輸入配給産業の発展に寄与した 団体、法人、人物の表彰、顕彰に関する事業	13
3)	国民に対する輸入外国映画の社会的有用性の啓発のための宣伝、普及促 進、保存及び特殊上映に関する事業	16
4)	外国映画文化の振興並びに外国映画輸入配給産業の発展及び最新映画技 術研究に寄与するセミナー・シンポジウム・交流会の開催に関する事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・	18
5)	映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への協力、 後援及び開催に関する事業	20
6)	輸入外国映画の国際取引に係る紛争解決の 斡旋及び知的財産保護に関する事業	21
7)	前各号に掲げるもののほか、 この法人の目的を達成するために必要な事業	22
	別添各種資料	
	外画概況 国別	23
	外画概況 会社別	27
	作品目録	31

一般社団法人外国映画輸入配給協会事業報告

I. 総会

1) 平成26年度定時総会

平成26年度定時総会が以下の通りおこなわれた。

開催日時： 平成26年6月6日 午後1時

開催場所： 東京建設会館 4階会議室

平成25年度事業報告、決算報告ならびに平成26年度事業計画、収支予算は承認可決された。

理事の任期満了に伴い、理事松岡宏泰、理事椎名保、理事依田巽、理事関輝明、の4氏の選任が承認された。

又、運営体制強化のため理事1名増員の提案がなされ竹内成和の理事就任が承認可決された。

2) 平成26年度事業計画

平成26年度事業計画は以下の通り

一般社団法人外国映画輸入配給協会が、平成26年4月1日より同27年3月31日迄の間に行う予定の主要事業は下記の通りである。

当協会は、一般社団法人映画産業団体連合会傘下において邦人系外国映画輸入配給業者を代表する国内唯一の公的機関として、本年も外国映画の普及、発展に寄与すべく事業活動にあたっていく。

また一般社団法人日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業組合連合会、モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)、一般社団法人日本映像ソフト協会、日本国際映画著作権協会等の映画関連諸団体と密接な連携を諮り、映画産業全体の発展に寄与していく。

- (1) 外国映画に関する調査、研究、統計資料の作成、収集並びにその公表等の広報活動に関する事業

各年度に配給公開された輸入外国映画の年度別統計一覧資料を作成し、ウェブサイト（日本語・英語）上で広く公表を行っていく。

①年間外国映画統計資料

平成元年より各年度に配給公開された輸入外国映画作品について『映画概況』（国別・会社別）を作成。国内の輸入映画産業における基礎的な統計データを調査・集計し、当協会の公式ウェブサイト（日本語・英語）並びに各メディアを通じて公表。日本国内をはじめ海外からの要請並びに問い合わせにも対応し、広報活動に努める。

また外国映画の年間興行成績の調査に関しても配給会社各社から直接の聞き取り調査により、年間興行収入ベストテンに関しては公表し、メディア他の調査に協力する。

(2) 外国映画文化、芸術の振興及び外国映画輸入配給産業の発展に寄与した団体、法人、人物の表彰、顕彰に関する事業

年間を通じて輸入外国映画の振興及び発展に貢献したと厳格な審査により認められた団体、法人、人物に対して各賞を授与し、メディアを通じて公表する。

①優秀外国映画輸入配給賞

この賞は、年間を通じて作品的に優秀でなおかつ新分野を開拓し、映画界の発展に大きく寄与すると認められた外国映画を我が国に輸入公開した配給会社を表彰している。評論家及び各メディアから選ばれた審査員8名が厳正な選考の上、最優秀賞を初め各賞を授与する。

(3) 国民に対する輸入外国映画の社会的有用性の啓発のための宣伝、普及促進、保存及び特殊上映に関する事業

広く国民を対象に輸入外国映画の持つ文化的・芸術的価値及び社会的価値について周知広報活動し、「さまざまな人に映画を届ける」を目標に特殊上映に関する活動を行う。

①トーキョーシネマショー

本協会、モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)、一般社団法人日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業連合会とともに、外国映画振興のためのイベントを実施する。シンポジウム、トークショー、試写会を通じて、一般の方々や劇場関係者およびマスコミに対して発信し、映画観客の増大と日本の映画産業の発展に大きく貢献することを目的とする。

②「映画館に行こう！」実行委員会活動

本協会、全国興行生活衛生同業組合連合会、一般社団法人映画製作者連盟及びモーション・ピクチャー・アソシエーション(MP A)の映画関係4団体が、映画館で映画を見てもらう機会を増やそうと、「映画館に行こう！」キャンペーンとしてこれまで「夫婦50割引」等の入場割引サービス等を行ってきた。今後の消費増税後に備え割引に関しては各興行会社の料金決定の動向を見定めてHP等にての案内をして行くこととした。同実行委員会としては、より多くのファンが映画に触れる機会を増やすため、今年も夏と秋に大々的にキャンペーンを実施する。昨年の「夏フェス」で実施し好評を得た<プライスレス・キャンペーン>の検証をすすめ、より一層映画ファンの喜ぶキャンペーンにすべく、「外画宣伝部長会」で議論を深めて行くこととしている。又「秋のキャンペーン」については、今年初めての試みとしてスカパー及びBSスカパーとの連携で実施し、制約もあったがTV放映できたという効果も見込まれるため、本年の実施に当たっては細かい部分まで詰めた協議を早くから行うこととなった。又インターネット環境の整備にともないYAHOO!との連携も強化しPCでの予告編サイトの拡充を図っていく。又全国上映劇場のタイム・テーブルのデータベース化の進展とその利用による顧客利便性の向上をめざし、メジャー紙から東京周辺の地方紙にも利用掲載を進めてきており、この流れを一層強化して行く。

又「映画の日」の式典内で同委員会が実施している<筑紫賞>の表彰式に当たっても、事務局として積極的に関わり、運営全般について協力していく。

③優秀外国映画の保存

東京国立近代美術館フィルムセンターと協力し、会員各社が優秀外国映画を国民の文化財産としてフィルムセンターに寄贈する努力を行う。

④副音声付等特殊上映

「さまざまな人に映画を届ける」を目標に、視覚・聴覚に障害のある方々、あるいは高齢者の方々に配慮した環境の中で映画作品を上映する機会を設ける活動を続ける他、シンポジウム等を通じて必要性を訴える催しを後援していく。

(4) 外国映画文化の振興並びに外国映画輸入配給産業の発展及び最新映画技術研究に寄与するセミナー・シンポジウム・交流会の開催に関する事業

アメリカを初めとする諸外国並びに国内の最新映画情報及び映像技術革新に対する研修会等を通じて、映画関係者のみならず広く一般の方々と情報共有を図り、国内の映画産業に資する事業を行う。

①映画産業交流会

年1回モーション・ピクチャー・アソシエーション(MP A)の協力を得て、日本の映画産業を支える配給・興行・製作関係者の参加により、外国映画輸入配給事業の健全な発達を及び、日本映画産業と海外の映画産業の交流を図り、我が国経済の発展と文化の向上に寄与することを目的として交流・情報交換の場としての「年頭名刺交換会」等を開催する。

②映画技術革新セミナー

デジタル化の進展による技術革新情報の最新情報を共有すべくセミナーの開催、技術研究会などに各映画関連団体と協力していく。

③外国映画通関連絡協議会研修会

当協会に事務局を置き、輸入通関業務及び映画技術の研究を行っている「外国映画通関連絡協議会」は、最近のデジタル化の急速な進展の影響で通関実績が極端に落ち、少々疎遠になっていた東京税関図書調査部門との関係修復及び今後の交流の活性化を進めて行く。又毎年最新映像技術に関する研修会を開催しており、本年もこの研修会を通して映画関係者のみならず広く一般の方々に最新の映画・映像技術の情報を提供する。

④外画宣伝部長会

当協会に事務局を置き、当協会会員、日本映画製作者連盟加盟社およびモーション・ピクチャー・アソシエーション(MP A)加盟の各社宣伝部長が、映画宣伝について直面する諸問題、緊急課題の検討、連絡、情報交換を通じて各社の宣伝業務が円滑かつ健全に行われるよう会議を開催しているほかY A H O O ! 予告編サイトの充実、マスコミ取材の調整、システムの維持・保全に加え、シネマショー、優秀外国映画輸入配給賞、「映画館に行こう！」実行委員会キャンペーンなどのイベントを共同して行っている。

(5) 映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への協力、後援及び開催に関する事業

映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への後援、開催への協力を
行う。

①各種映画祭

これまで東京国際映画祭を初め、神戸100年映画祭、大阪ヨーロッパ映画祭、大阪アジア映画祭、沖縄国際映画祭、山形国際ドキュメンタリー映画祭、京都ヒストリカ国際映画祭、あいち国際女性映画祭、日本アカデミー賞、毎日映画コンクール、ブルーリボン賞等各種映画祭に対する後援及び実行協力を行っている。また「映画の日」など映画各団体が実行する催事に対する協力をを行う。さらに輸入外国映画を広く我が国の国民に紹介すべく、EUフィルムフェスティバル、ブルガリア映画祭、フランス映画祭等海外の映画紹介への協力をを行う。

(6) 輸入外国映画の国際取引に係る紛争解決の斡旋及び知的財産保護に関する事業

映画界のデジタル化に伴う様々な問題と劇場用長編外国映画の著作権侵害に対する諸対策を講じる。

①映画盗撮防止対策

本年も映画館での映画盗撮による著作権侵害が映画文化、芸術に対して被害を及ぼしていることに鑑み、映画盗撮防止に対する法律（平成19年法律第65号）第三条に規定されている映画産業関係事業者による映画盗撮防止措置について関係各団体と協議する他、「映画館に行こう！」実行委員会を中心に行っている「NO MORE映画泥棒」キャンペーンと連携を取って映画盗撮防止対策を拡充推進していく。

②会員各社並びに非会員輸入配給業者からの国際取引、著作権問題に関する諸問題の相談、聞き取り対策会員各社からの問題提議に沿い、協会は顧問弁護士、顧問会計事務所等との相談を通じ、外国映画関係法規及び国内著作権法等の検討を行い、問題解決に努める。

(7) 前各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために必要な事業

II. 理事会、会員定例会、部会、事業

1) 理事会審議議題

○第28回理事会（4月18日開催）

<審議・承認事項>

第27回（3月）理事会議事録承認の件

3月収支月次報告の件

平成25年度決算の件

平成26年度事業計画の件

平成26年度予算の件

任期満了理事の件

在籍会員資格異動の件

賛助会員新規入会の件

「第27回東京国際映画祭」後援名義依頼の件

「MPTE AWARDS 2014」後援名義依頼の件

<報告事項>

トーキョーシネマショー2014の件

その他

○第29回理事会（6月6日開催）

<審議・承認事項>

第28回（4月）理事会議事録承認の件

4月、5月収支月次報告の件

平成26年度理事選任の件

「第7回したまちコメディ映画祭 in 台東」後援名義申請の件

「あいち国際女性映画祭2014」後援名義申請の件

<報告事項>

JASRAC会議報告

トーキョーシネマショー2014の件

その他

○第30回理事会（7月18日開催）

<審議・承認事項>

第29回（6月）理事会議事録承認の件

6月収支月次報告の件

「第19回神戸100年映画祭」後援名義申請の件

「Japan Content Showcase 2014」後援名義申請の件
＜報告事項＞
トーキョーシネマショー2014の件
JASRACの件
その他

○第31回理事会（9月19日開催）
＜審議・承認事項＞
第30回（7月）理事会議事録承認の件
7月、8月収支月次報告の件
＜報告事項＞
トーキョーシネマショー2014終了の件
第53回優秀外国映画輸入配給賞の件
「映画館に行こう！」実行委員会の件
その他

○第32回理事会（10月17日開催）
＜審議・承認事項＞
第31回（9月）理事会議事録承認の件
9月収支月次報告の件
新部会設置の件
「第6回京都ヒストリカ国際映画祭」後援名義申請の件
＜報告事項＞
第53回優秀外国映画輸入配給賞の件
「映画館に行こう！」実行委員会の件
その他

○第33回理事会（11月21日開催）
＜審議・承認事項＞
第32回（10月）理事会議事録承認の件
10月収支月次報告の件
「第三回 新・午前十時の映画祭」後援名義申請の件
＜報告事項＞
平成27年年頭名刺交換会の件
新部会（国際部会）発足の件
その他

○第34回理事会（1月16日開催）

<審議・承認事項>

第33回（11月）理事会議事録承認の件

11月、12月収支月次報告の件

「第10回大阪アジア映画祭」後援名義申請の件

<報告事項>

平成27年年頭名刺交換会終了の件

外画概況の件

その他

○第35回理事会（2月20日開催）

◆「JAPAN DAY PROJECT」について

VIPO ジャパン・コンテンツ海外展開事務局からの説明

<審議・承認事項>

第34回（1月）理事会議事録承認の件

1月収支月次報告の件

「第7回沖縄国際映画祭」後援名義申請の件

<報告事項>

第53回優秀外国映画輸入配給賞の件

JASRAC会議報告の件

その他

○第36回理事会（3月20日開催）

◆「Bonobo 企画」について

DEG ジャパン事務局からの説明

<審議・承認事項>

第35回（2月）理事会議事録承認の件

2月収支月次報告の件

平成26年度仮決算の件

平成27年度事業計画案の件

<報告事項>

JASRAC問題経過報告の件

その他

2) 会員定例会審議議題

- 4月会員定例会（4月18日開催）
 - 3月会員定例会議事録承認の件
 - 3月事業報告承認の件
 - 平成25年度決算の件
 - 平成26年度事業計画の件
 - 平成26年収支予算書の件
 - 後援名義使用許諾報告の件
 - ①第27回東京国際映画祭
 - ②MPTE AWARDS 2014
 - 第52回優秀外国映画輸入配給賞授賞式終了の件
 - その他

- 6月会員定例会（6月6日開催）
 - 4月会員定例会議事録承認の件
 - 4月、5月事業報告承認の件
 - トーキョーシネマショー2014の件
 - 後援名義使用許諾報告の件
 - ①第7回したまちコメディ映画祭 in 台東
 - ②あいち国際女性映画祭2014
 - その他

- 7月会員定例会（7月18日開催）
 - 6月会員定例会議事録承認の件
 - 6月事業報告承認の件
 - トーキョーシネマショー2014の件
 - 「映画館に行こう！」実行委員会の件
 - 後援名義使用許諾報告の件
 - ①第19回神戸100年映画祭
 - ②Japan Content Showcase 2014
 - その他

- 9月会員定例会（9月19日開催）
 - 7月会員定例会議事録承認の件
 - 7月、8月事業報告承認の件
 - トーキョーシネマショー2014終了の件

第53回優秀外国映画輸入配給賞の件
「映画館に行こう！」実行委員会の件
第27回東京国際映画祭概要について
その他

- 10月会員定例会（10月17日開催）
 - 9月会員定例会議事録承認の件
 - 9月事業報告承認の件
 - 第53回優秀外国映画輸入配給賞の件
 - 「映画館に行こう！」実行委員会の件
 - 後援名義使用許諾報告の件
 - ①京都ヒストリカ国際映画祭
 - 新部会（仮称）国際部会設置承認報告の件
 - その他

- 11月会員定例会（11月21日開催）
 - 10月会員定例会議事録承認の件
 - 10月事業報告承認の件
 - 「第27回東京国際映画祭」終了報告の件
 - 後援名義使用許諾報告の件
 - ①第三回 新・午前十時の映画祭
 - 新部会「国際部会」正式発足報告の件
 - その他

- 1月会員定例会（1月16日開催）
 - 11月会員定例会議事録承認の件
 - 11月、12月事業報告承認の件
 - 平成27年年頭名刺交換会終了の件
 - 平成26年外面概況の件
 - 後援名義使用許諾報告の件
 - ①第10回大阪アジア映画祭
 - その他

- 2月会員定例会（2月20日開催）
 - 1月会員定例会議事録承認の件
 - 1月事業報告承認の件
 - 第53回優秀外国映画輸入配給賞の件

2014年全国映画概況(映連資料)の件
後援名義使用許諾報告の件

①第7回沖縄国際映画祭

JASRAC資料確認のお願い

その他

○3月会員定例会(3月20日開催)

2月会員定例会議事録承認の件

2月事業報告承認の件

平成26年度仮決算の件

平成27年度事業計画案の件

その他

3) 宣伝部会、営業部会、製作=渉外部会、総務・経理合同部会の開催及び新部会
国際部会発足

理事会の承認のもとに以下の部会に於いて、事業計画推進・協会運営のため
の一般会議が行われた。

○宣伝部会

4回(9月24日、11月26日、1月28日、3月27日)

○営業部会

4回(9月25日、11月28日、1月29日、3月26日)

○製作=渉外部会

4回(9月26日、11月27日、1月20日、3月30日)

○総務・経理合同部会

4回(9月24日、11月26日、1月9日、3月27日)

○国際部会

平成26年11月21日正式発足

4) 外国映画通関連絡協議会の開催

4回(4月11日、9月26日、11月27日、1月20日)

5) 外画宣伝部長会の開催

8回（4月23日、6月11日、7月24日、9月24日、11月26日、
12月25日、1月28日、3月27日）

Ⅲ. 主な事業活動の報告

- 1) 外国映画に関する調査、研究、統計資料の作成、収集並びにその公表等の広報活動に関する事業

平成26年外国映画作品目録を平成27年1月に発行。平成26年外画概況—国別、会社別—を7月(上半期)と1月に発行。作品目録ならびに外画概況は別添。なお、各種資料は完成後すぐに当協会ホームページに掲載し、関連団体、官公庁、関係会社、マスコミとの連絡業務に使用されている。

- 2) 外国映画文化、芸術の振興及び外国映画輸入配給産業の発展に寄与した団体、法人、人物の表彰、顕彰に関する事業

1. 第53回優秀外国映画輸入配給賞の実施

社団法人外国映画輸入配給協会が昭和37年度（1962年）から通商産業省（現経済産業省）の後援を得て制定した「優秀外国映画輸入配給賞」も平成26年度で53回を迎えた。第53回同賞は平成26年4月1日から平成27年3月31日迄の1年間に作品的に優秀で、なおかつ新分野を開拓し、日本映画界の発展に大きく寄与すると認められた外国映画を我が国に輸入公開した配給会社を表彰するため、7名（別項表示）の審査員により審査がおこなわれ、各賞が決定した。

概要は以下の通り

審査委員・運営委員合同会議は、10月8日(水)に開催され、第53回「優秀外国映画輸入配給賞」の実施要項が承認された後、審査員が紹介され審査委員長に品田雄吉氏、副委員長に秋山登氏の就任が決定した。尚、合同会議後の12月13日に審査委員長品田雄吉氏のご逝去されたため、副委員長の秋山登氏に委員長を代行していただき残る7名の審査員により審査会を開催した。

審査員： 秋山 登、明智 恵子、大高 宏雄、須永 智美、鄭 孝俊、
村上 光一、渡辺 祥子（五十音字）

主 催： 一般社団法人外国映画輸入配給協会

後 援： 経済産業省

審査報告書

第1回審査会

第1回審査会は2月4日（水）午後12時より、日本映画製作者連盟会議室にて審査員7名出席のうえ開かれた。秋山審査委員長から、審査の基本方針について説明が行われ、外国映画輸入配給協会が作成した2014年度「外国映画作品目録」を資料に、審査対象会社111社（当協会会員会社24社、MPA加盟会社5社、その他82社）を1社ずつ配給した全作品を検討しつつ審議を行った結果、最終審査会には以下が選ばれた。

- 株式会社キノフィルムズ
- ギャガ株式会社
- 株式会社ショウゲート
- 東宝東和株式会社
- ブロードメディア・スタジオ株式会社
- 有限会社ロングライド
- ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
- 20世紀フォックス映画
- ワーナー エンターテイメント ジャパン株式会社
- 株式会社アップリンク
- 株式会社コムストック・グループ
- 株式会社シンカ
- 株式会社トランスフォーマー
- 有限会社ムヴィオラ

第2回審査会（最終審査会）

2月5日に行われた第1回審査会に続いて最終審査会は3月25日（水）午後12時より日本映画製作者連盟会議室において開かれた。第1回審査会で選ばれた14社の平成26年4月から平成27年3月末日までに公開された作品リストをもとに、秋山委員長代行の他6名の審査員により各賞の推薦理由及びそれに対する徹底討議ののち、以下の審査結果に決定致した。

<最優秀賞>

- ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社
ウォルト・ディズニー・スタジオ・ジャパン
「マレフィセント」「ベイマックス」「イントゥ・ザ・ウッズ」

昨年3月の封切り以降、日本歴代3位の興行収入を上げ社会現象にまでなった「アナと雪の女王」から、「マレフィセント」「ベイマックス」「イントゥ・ザ・ウッズ」などを続けて大ヒットさせ洋画ファンの期待に応え続けています。とりわけ「ベイマックス」は、日本の映画ファンに向けた宣伝コンセプトに基づいて、タイトルからヴィジュアル開発まで一貫した方針を貫いて成功に導いています。本年は、ディズニー映画をさらに新たなブランドに育てた功績を高く評価する声が多くあがり「最優秀賞」に決定しました。

<優秀賞>

○有限会社ロングライド

「ブルージャスミン」「めぐり逢わせのお弁当」「フォックスキャッチャー」

公開する作品のどれもが水準を上回る良質な作品ばかりで、映画ファンの心を捉えて放さない秀作揃いのラインアップに讃嘆の声が上がりました。ウディ・アレン監督の「ブルージャスミン」を初め、ケン・ローチ監督やコーエン兄弟の監督作品、又前評判の高い秀作「フォックスキャッチャー」は元より、チャレンジともいえるインド映画の「めぐり逢わせのお弁当」やスウェーデン映画の「100歳の華麗な冒険」などを発掘しヒットに結びつけています。様々な国から良質な作品を探索し続けるその配給姿勢に敬意を表するだけでなく今後も一層素晴らしい映画を世界中から日本の映画ファンに届けてもらいたいという期待も込めての受賞となりました。

<奨励賞>

○株式会社ショウゲート

「毛皮のヴィーナス」「KANO ～1931海の向こうの甲子園～」

アメリカ・ヨーロッパやアジア・中東からも様々な作品を輸入配給した中で、特に「毛皮のヴィーナス」で力の衰えを全くと言ってよいほど感じさせないロマン・ポランスキー監督に驚きの声が上がりました。又、台湾映画「KANO ～1931海の向こうの甲子園～」に対しては、事前の評価をはるかに上回る作品の力とそれを生かした宣伝と好成績を収めたことに対しても評価が集まりました。今後も多様なジャンルの作品で洋画ファンの願いに応えつづけてくれることを期待して奨励賞の受賞となりました。

○株式会社コムストック・グループ

「アデル、ブルーは熱い色」「暮れ逢い」「さらば、愛の言葉よ」

フランス映画を集中的に配給して、本年は大いにその存在をアピールしました。万人向けとは言えない「アデル、ブルーは熱い色」、「暮れ逢い」、「さらば、愛の言葉よ」そんな作品ですが、特にジャン＝リュック・ゴダール監督の「さらば、愛の言葉よ」は一般観客の理解を超えるところのある作品だけに、興行成績に拘らない姿勢と勇気に敬意を表したいとの意見が大勢を占めて、文字通り今後の奨励を込めて受賞が決まりました。

授賞式は平成27年4月15日に開催された。

2. 一般社団法人映画産業団体連合会会員としての活動

一般社団法人映画産業団体連合会（映団連）の正会員として、当協会会長は理事として定時総会、定例理事会（9回）に出席し、事務局長はオブザーバーとして同席。映団連会員団体事務局長連絡会議に出席、映団連の会員として当協会の基盤の安定に努力した。映団連主催の第59回「映画の日」運営に協力した。

第59回「映画の日」永年勤続功労章受賞者（当協会推薦者）は以下の通り。

氏名	会社名	役職名
田代 京子	グロービジョン(株)	制作部勤務

3) 国民に対する輸入外国映画の社会的有用性の啓発のための宣伝、普及促進、保存及び特殊上映に関する事業

1. 「トーキョーシネマショー」の開催

19回目を迎えた「トーキョーシネマショー」は「トーキョーシネマショー2014」として以下の通り開催された。

会場：イイノホール

会期：7月30日（水）

主催：一般社団法人外国映画輸入配給協会

共催：モーション・ピクチャー・アソシエーション（MPA）

一般社団法人日本映画製作者連盟

全国興行生活衛生同業組合連合会

後援：経済産業省

公益財団法人ユニジャパン

NPO法人映像産業振興機構

プログラム

○シンポジウム

『洋画宣伝新時代へ向けて～これからの洋画配給に求められるものとは～』

最前線の宣伝部長に聞く

進 行 : 大高宏雄 氏 (映画ジャーナリスト 文化通信特別編集委員)

パネリスト: 因藤靖久 氏 (松竹(株) 映像本部映画宣伝部 部長)

松下 剛 氏 (ギャガ(株) 執行役員 宣伝部担当)

仲澤直美 氏 (株)ソニー・ピクチャーズエンタテインメント

映画マーケティング部 部長)

林田真由 氏 (アスミック・エース(株) 映画配給部副部長

兼 映画宣伝グループ グループ長)

○プレゼンテーション大会

『秋から2015に向けて“各社渾身のこの1本!”』

映画パーソナリティ襟川クロ氏の司会で、外配協、MPA、映連加盟配給各社23社の宣伝担当者が、2014年秋以降に公開予定の新作映画のプレゼンを行い会場は盛り上がった。

○懇親会

シンポジウム、プレゼンテーションに出席の興行、配給他関係者との懇親会が行われた。

2. 「映画館に行こう！」実行委員会活動

年間映画人口を2億人に拡大し、映画産業と日本経済の発展に資する事を目的に、一般社団法人日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業組合連合会、一般社団法人外国映画輸入配給協会、モーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)の映画業界4団体が平成16年に発足させた「映画館に行こう！」実行委員会の平成26年度事業に積極的に参加した。

<主な活動内容>

①映画館での盗撮防止への継続的活動

②第10回「筑紫賞：ゴールデンタイトル・アワード」選考および授賞式

日 時 : 12月1日(月) (「映画の日」式典にて)

会 場 : 東京會館

受賞作品 : 「罪の手ざわり」(A Touch Of Sin)

配 給 : 有限会社ビターズエンド、株式会社オフィス北野

尚、今回の第10回を一つの区切りとして故筑紫哲也氏のご出身でもある朝日新聞紙面において審査員2名の特集対談記事を掲載し、筑紫哲也氏と本賞の意味の再確認を行うと共に、筑紫哲也氏の遺志を別な形で引き継げるよう考えることとして発展的に終了した。

- ③上映時間データベース及びYAHOO! 予告編サイトの継続による観客利便性の拡充
- ④夏キャンペーン・・・全国劇場にて夏から秋の公開作品情報を掲載した公式パンフレットを210万部発行。この中で、ポップコーン引き換え券によるファンサービスを実施
- ⑤“新作映画イッキに見せます！ in 東京国際映画祭”・・・10月27日東京国際映画祭期間中に秋から正月に向けての話題作予告編をいっきに公開するイベントを実施。タレントも参加した華やかな催しを開催した。
- ⑥平成27年3月1日より新たな取り組みとして、ツイッター社とのコラボレーション企画「映画ツイートデイ」キャンペーンをスタートさせた。毎月1日を「映画ツイートデイ」とし、映画を見た人の感想や周辺情報の速やかな拡散を図ることにより観客の増加に結び付けていくことを主眼としている。この立ち上げから利用を促進するため、カメラ男・パトランプ男も参加してスタートキャンペーンを行った。又ツイッター参加者への抽選によるプレゼントも行われた。

3. 東京国立近代美術館フィルムセンターへのフィルム寄贈

当協会会員会社から東京国立近代美術館フィルムセンターに永久貸与された作品は0本であった。会員各社の作品契約の諸条件の中で、海外契約相手のプロデューサーからの賛同を得て、日本（東京国立近代美術館フィルムセンター）にプリントを残す運動は、地道な活動ではあるが、重要な仕事であると認識して、各社が努力している。

4) 外国映画文化の振興並びに外国映画輸入配給産業の発展及び最新映画技術研究に寄与するセミナー・シンポジウム・交流会の開催に関する事業

1. 年頭名刺交換会の開催

平成27年1月5日（月）モーション・ピクチャー・アソシエーション（MPA）の協力を得て、日本の映画産業を支える配給、興行、宣伝、製作、メディア関係者710名が参加し、年頭にあたり外国映画輸入配給事業の健全な発達を図り我が国経済の発展と文化の向上に寄与することを目的として「年頭名刺交換会」を開催した。

2. 外国映画通関連絡協議会研修会

映画・映像関連事業に携わる企業40社が参加する外国映画通関連絡協議会では、東京税関を初めとする諸機関との折衝を通じて輸入通関業務の簡素化を図るため定例会合を開催した他年間を通じて主に以下のような活動を行った。

① 定例会合（年4回）

② 研修会

（1）夏季研修会

日時：平成26年7月16日（水）14時より16時

場所：IMAGICA 第1試写室

議題：「バリアフリー上映の今後」

講師：NPO法人 メディア・アクセス・サポートセンター

理事・事務局長 川野 浩二 氏

松田高加子 氏

「8Kスーパーハイビジョンの現状」

講師：NHK放送技術研究所

西田 幸博 氏

「SMPTE-DCPについて」

講師：慶応義塾大学

デジタルメディア・コンテンツ統合研究センター

金子 晋丈 氏

（2）秋季研修会

日時：平成26年11月10日（月）14時～15時30分

会場：NHK放送技術研究所

内容：8K技術研修会

①SHVシアターにおける映像紹介

（This is SHV, ロンドン五輪、リオ、花火、ソチ五輪）

②8K145インチプラズマディスプレイ、8K小型カメラ

③フレーム周波数の異なる映像比較（60fpsと120fps）

④8Kハイブリッドキャスト

3. 外画宣伝部長会

当協会会員会社とモーション・ピクチャー・アソシエーション（MPA）加盟会社、映連加盟会社他、合計32社の宣伝部長で構成される宣伝部長会（8回）を開き、直面する諸問題の検討、情報の交換等を行い、各社の宣伝業務が円滑、健全に遂行されるとともに、映画観客の増大に繋がる宣伝を各社が行える環境整備に努力をした。一般社団法人映画製作者連盟と協力して、2012年度まで実施してきた映画ジャーナリスト・宣伝部合同年賀の会は、会費面と参加人数の減少等の問題を抱えながら続けてきたが、本年度は一端休止し新たな形を模索してゆくこととなった。また「映画館に行こう！」実行委員会で立ち上げた上映時間データベースやYAHOO！予告編サイトについて改良、改善に努めたほか、同実行委員会が主催した「夏キャンペーン」及び「新作映画イッキに見せます！in 東京国際映画祭」の実行部隊として活動した。又、本年度から始まった「映画ツイートデーキャンペーン」のスタートイベントにも参加した。

5) 映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への協力、後援及び開催に関する事業

1. 映画祭の後援・協力を行い、各映画祭が成功裡に開催されるよう協力した。
2. 第27回東京国際映画祭運営に協力をし、上映作品のフィルム通関、翻訳、字幕製作に協力した。トーキョーシネマショーは第27回東京国際映画祭提携企画となった。

平成26年度 外配協後援各種映画祭

映 画 祭	会 期	会 場
第二回 新・午前十時の映画祭	平成26年4月 5日(土)～ 平成27年3月20日(金)	全国53の映画劇場
SKIPシティ 国際Dシネマ映画祭 2014	平成26年 7月19日(土) ～ 7月27日(日)	SKIPシティ 他
あいち国際女性映画祭 2014	平成26年 9月 3日(水) ～ 9月 7日(日)	ウィルあいち 他
第7回 したまちコメディ映画祭 in台東	平成26年 9月12日(金) ～ 9月16日(火)	台東区 (浅草地区・上野地区)
第27回 東京国際映画祭	平成26年10月23日(木) ～10月31日(金)	六本木ヒルズ 他
Japan Content Showcase 2014	平成26年10月21日(火) ～10月23日(木)	ホテル グランパシフィック LE DAIBA
MPTE AWARDS 2014	平成26年10月28日(水)	六本木ヒルズ
第19回 神戸100年映画祭	平成26年10月30日(木) ～11月16日(日)	新長田ピフレホール 他

第6回 京都ヒストリカ映画祭	平成26年12月6日(土) ～12月14日(日)	京都文化博物館 他
第10回 大阪アジア映画祭	平成27年3月6日(金) ～3月15日(日)	梅田ブルク7 ABCホール 他
第7回 沖縄国際映画祭	平成27年3月25日(水) ～3月29日(日)	沖縄コンベンションセン ター 他

3. 各種映画賞運営に協力

第38回「日本アカデミー賞」(運営委員として)、第69回「毎日映画コンクール」の運営(諮問委員として)に協力した。東京映画記者会主催の第57回「ブルーリボン賞」に後援者として協力した。

6) 輸入外国映画の国際取引に係る紛争解決の斡旋及び知的財産保護に関する事業

1. 映画館内における映画盗撮により、複製海賊版DVDやインターネット上へのダウンロード等により著作権侵害が多発していることから、映画各団体は協力して活発な活動を展開した結果、平成19年「映画館の盗撮の防止に関する法律」が公布、施行された。

この後当協会、一般社団法人日本映画産業団体連合会、一般社団法人日本映画製作者連盟、モーションピクチャー・アソシエーション(MPA)、全国興行生活衛生同業組合連合会は、一般社団法人映像ソフト協会、日本著作権協会とも緊密な連絡をとり、同法律の周知徹底に資するため、「映画館に行こう！」実行委員会を中心に全国劇場における盗撮防止キャンペーンCM(カメラ男)を継続している。

平成22年1月および23年1月からは著作権法一部改正があり、ダウンロードに関しても厳しい対応となったことからCMのリニューアルを行い、キャンペーンを継続している。

このほか、違法対策室を設け劇場からの盗撮情報を集約、連絡を徹底している。

2. 著作権問題

会員各社における著作権問題に関する諸問題を顧問弁護士との相談を通じ検討・連絡・対応にあたった。また速やかな映画業界全体としての問題解決に向かって各関連団体との協議を重ねた。2011年以降、一般社団法人日本音楽著作権協会(JASRAC)と全国興行生活衛生同業組合連合会(全興連)と

の間で始まった「JASRAC管理楽曲を使用している映画の上映使用料契約改訂交渉」(JASRAC会議)については、毎回オブザーバーとして参加し、現状代行払いを行っている配給会社側の考えを伝え利益を守って行くと共に、全興連との共同歩調のもと、映画業界全体の利益を守ることを主眼に置いて行動している。

- 7) 前各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために必要な事業

以上